

わかったクンの校内散歩

R5・7・20



「私たちの声を届けたい」

13日（木）、生徒会を代表して高等部生徒3名が校長室にきました。

代表生徒が、「生徒会で話し合いをし、私たち中学部・高等部の思いを先生方に伝えたいと思い来ました。」とのこと。

生徒会を中心に、岐阜聾学校のことや自分たちの学校生活について話し合い、その中で、自分たちがしなければならないこと、学校にお願いしたいことを整理し、特に学校に対して検討してほしいことを『要望書』にまとめ届けにきました。『要望書』には、6つの願いが書かれていましたが、校長室では、その中の一つ「小・中・高等部合同運動会の実施」について強く思いを伝えてきました。

岐阜聾学校の運動会は、20年ほど前までは、幼稚部から高等部まで縦割りで、競技・表現・応援合戦などを行う当校の伝統行事の一つでした。係り活動や応援の練習等を通して、規律（ルール）や協働等を、先輩から学ぶことのできる貴重な時間でもありました。しかしその後、授業時間の確保や近年のコロナ禍により、行事の精選・縮小を余儀なくされてきました。

今年は、小学部、中学部それぞれに運動会を行いました。生徒たちはその現状を見て、生徒数の減少に伴い運動会の規模縮小に寂しさを感じるとともに、仲間同士の学び合いや高めあいの必要性を感じたようです。

「不易と流行」という言葉がありますが、生徒たちの思いを大切にしつつ、聾学校の伝統も大切にしながら、新しい取り組みに変えることができれば・・・と思っています。

